おんがく広場 第 25 号

令和 2 年(2020) 5 月 2 日(土)
発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一
連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp

<メール対談>

合唱の将来像を求めて…

合唱指揮者の古澤利人氏と

コロナ禍で身動きできなくなった現状について、合唱指揮者の古澤利人氏と facebook のメッセージでやりとりした内容をまとめました。

◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉ ◉

加藤：　自粛要請の中、公共施設が閉鎖され、行き場を失った合唱団や音楽家の方々は大変厳しい状況に置かれています。悩みを共有し情報交換できればとの思いで 4 月 10 日から『**おんがく広場**』の発行を始めました。また、4 月 25 日には、仙台の千葉敏行氏が「**ポストコロナの合唱活動を考えよう**」という facebook の公開グループを立ち上げたところ、瞬く間に千人以上の方々が登録しています。

古澤：　このコロナショックで合唱コミュニティが闊達になると嬉しいですね。

加藤：　先行きが不透明なだけに不安がつのっているのだと思います。

古澤：　私も合唱団の指導の仕事がメインの収入源でしたから、家計的には大打撃です。合唱団の方から支援として謝礼金を申し出ていただいていますが、僕はお仕事をしていないのにいただく訳にはいかない、とお断りしています。（※この件は、我が家はまだ少し貯金が残っているのと、合唱団の財務事情によってこのような判断をしたので、例えば謝礼を受け取ることを否定している訳ではありません。）

加藤：　なるほど、そのお気持ちよくわかります。

古澤：　というのも、このコロナショックは一過性のものではなく、まだまだ長期的に続くものと予想していますから、その都度に支援をいただく訳にはいきませんし、そのことで合唱団の体力が疲弊してしまったり、解団してしまうことの方が私にとっては致命傷になるからです。

加藤：　確かにそれでは本末転倒ですし、それは誰も望まないことですね。

古澤：　ですので、もし今われわれ指導陣に対して必要な支援があるとしたら、それは「**新しい仕事**」であり、その為には「**新しい合唱形態**」、「**新しい指導法**」を作り上げることだと考えています。

加藤：　新たな道を模索する、軌道修正するというわけですね。

古澤：　例えば、「新しい仕事」としては、著作記事に対して原稿料をいただいたりすることで、指導者の仕事を生み出すことにもなりますし、そういった取り組みを広めていったり出来たら良いかな、と思います。その為に、有料の合唱愛好家による**オンラインサロン**など設立して、そこから様々な合唱指導者に掲載記事の原稿依頼をする、というのはどうでしょうか？

加藤：　なるほど、そのようなご提案は、指導者側ご自身からはなかなか発しにくいものと思います。また、有料のオンラインサロンについてもどのようなことをやるのか、一般の合唱人にとってどのようなメリットが得られるのか、料金はいくらにするのかなど、解決しなければならない問題がたくさんありそうですね。

今後単に合唱団を前にして指導する以前のやり方が困難になるのであれば、「新しい仕事」、「新しい合唱形態」、「新しい指導法」を模索しなければならないと思います。さらに議論を深めて参りましょう。

【古澤利人・プロフィール】
オペラ歌手、演出家、合唱指導者、音楽講師／名前の由来：「リヒト」はドイツ語の"**LICHT＝光**"…本名／埼玉県出身、東京藝術大学声楽科卒業／大学卒業後数々のオペラやコンサートに出演／東京二期会会員／第九ミリオーネンプロジェクト代表・合唱指導者／他多数の合唱団を指導

金沢二水高校　合唱版「うちで踊ろう」

現在休校中の石川県立金沢二水高校音楽科の学生が何かできないか…と考え、星野源さんとのコラボ動画「**うちで踊ろう**」の混声版を SNS にアップしたところ、5 月 1 日テレビ朝日の M ステで取り上げられました。

（加藤良一）

Twitter：
https://twitter.com/j9UuzNKgZx2x2dY
Instagram：
https://instagram.com/nisui_chorus_club_0147